

第2760地区

豊田ロータリークラブ



『ロータリーに誇りと自信を！魅力あるクラブを目指して』

http://www.toyotarc.jp

本日の例会

第2394回 クラブフォーラム

日時 平成21年9月3日(木) 12:30~13:30
場所 ホテルトヨタキャッスル
ゲスト 地区RYLA委員会委員長 犬束敏彦様
テーマ 「新世代委員会活動の理念と実践」
-今週の祝福-
会員誕生日 9月 3日 村上雅則君
9月 4日 窪田泰和君
9月10日 荒木 徹君
ご夫人誕生日 9月 5日 稲垣利彦君ご夫人 幸恵様

前回の例会

第2393回

日時 平成21年8月27日(木) 12:30~13:30
会場 ホテルトヨタキャッスル
司会 会場委員会 山田康二君
斉唱 『我等の生業』
来訪者 -

会務報告 会長挨拶 岡田勝美 会長



本日の会務報告はございません。
衆院選も終盤に差し掛かり、選挙に携わられている方は最後の追い込みに大変な時期かと思っております、あと少しですので、体調には注意され頑張ってください。
さて皆様もご承知の通り、夏の甲子園で愛知県代表の中京大中京が43年ぶり7回目の優勝を決めました。TVで観戦された方は、手に汗を握りながらの観戦だったかと思っております。9回2死までは楽勝ムードでしたが、一変するような球史に残る熱戦でした。この地域では優勝中京高、県立岐阜商業が準決勝へ進んだことで、明るい話題を提供して頂きました。つい最近まで日本一元気の良い地域が、一瞬にして日本一元気の無い地域となりましたが、この球児達の頑張りが多少とも元氣と勇気を与えてくれたのではないかと考えております。

次は我々、豊田RC野球同好会の番でありまして、9月に名古屋ドーム全国大会がありますので、この運営・設営をしっかり行い、良い試合を行う事がRCに勇気と元氣を与える事になりますので、選手の皆様方は頑張ってくださいと思っておりますし、時間のある方は是非、応援に来て頂き激励でもして頂ければ、選手も頑張ると思っておりますので、宜しくお願い致します。

幹事報告 天野勝美 幹事

- 例会変更のお知らせはお手元の資料をご確認ください。
堀川G補佐より、G補佐訪問のお礼状が届いております。
9/10(木)は、豊田東・中RCと合同の「ガバナー公式訪問」の為、9/11(金)に変更となります。ガバナー公式訪問及び今後、ゲスト講師がお見えの際の卓話は、途中退席は控えて下さるようお願い致します。

*社会奉仕委員会より 丸井俊裕君

9/6(日)に「キッズサッカーフェスティバル」を開催いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

卓話

担当 梅村泰弘 君

今春、全国一斉に発売されました家庭用燃料電池「エネファーム」について東邦ガス㈱の片岡様をお招きしてお話頂きます。
日本版ニューディール政策ではありませんが、低炭素社会に向けてのいろいろな取組みが成されておりますが、その中でも特に太陽光発電と家庭用燃料電池については業界内でもダブル発電と非常に注目されております。太陽光発電については既に余剰電力の買取り制度も始まっており、尚且つ料金も1Kw 当たり24円から48円へと倍の価格へ変動し、動きのあるエネルギー業界となっております。卓話に入る前に講師のプロフィールをご紹介させていただきます。1986年名古屋大学大学院工学研究科を終了され、同年東邦ガスに入社されております。1995年工学博士号を取得され、2002年から燃料電池及び水素製造に関する研究に従事され、昨年2008年より現職で活躍されております。

ゲストスピーカー 片岡明博 氏(東邦ガス㈱) リビング企画部)

『家庭用電池「エネ・ファーム」について』



～パワーポイントにて説明～
家庭用燃料電池というもの当社をはじめ、全国のガス会社、そして新日本石油も販売を開始致しておりますが、本日はセールスの為ではなく、この様な家庭用燃料電池、それから自動車ではトヨタ自動車が燃料電池自動車を開発販売しておりますし、パソコンの電源としても燃料電池の技術が開発され

ており、これからの様な技術が世の中でだんだんと出てくることを意識して頂けたらと考えております。今回は東邦ガスとして“家庭用燃料電池”に絞って技術の紹介をさせていただきます。

皆様は「家庭用燃料電池」と言う言葉はお聞きになられた事があるかと思いますが、実際にはどんな特徴があり、どの様な技術が活かされているのかは、ご存じない方も多くお見えになると思っておりますので、その辺りをご紹介させていただきますのでよろしくお願致します。

家庭用電池の1番の売りは環境であります。まず序章として地球温暖化について少しお話をさせていただきます。地球温暖化問題とは我々が社会生活を営む上で石油や天然ガスを使い、それに伴ってCO2発生致します。地球は森林をはじめ、土壌、海洋でCO2の吸収能力もあり

ます。排出量と吸収量のバランスが取れていれば問題無いのですが、排出量が吸収量を上回ってしまうと地層大気圏の中でCO2の層が出来、太陽光をはじめとする入射エネルギーを反射しようとしてもCO2の壁がブロックし、段々と熱が籠ってしまうという現象です。因みに現在の排出量は吸収量の2倍もあり、オーバーフロー状態にあります。

上記を受け政府の考えについて触れさせていただきます。本年6月に麻生総理が我が国の中期目標として2005年(現在の排出量13.5億t)の排出レベルを基準年として、2020年にマイナス15%とする目標を掲げております。もとの京都議定書では1990年比20年にマイナス6%とするのが目標でした。今回の政府の目標は90年度比でマイナス8%、05年度比でマイナス15%を政府が出しております。しかし目標達成には程遠いと言うのが現状であります。

我が国のCO2総排出量に占める家庭用排出量は約13%と少なく感じられますが、1990年から見ると2005年度は37%増えているのです。この事から家庭からの排出量が全体に比べ増加量が多いことがお解りになると思います。周りでも節電・省エネ家電とかの意識が普及してきても減少しないのが現状であります。家庭用におけるCO2の削減が地球温暖化防止に対して大きな要素となります。

昨日の日経新聞の1面にも記載されておりましたが、CO2の排出削減するには我々の持出し追加負担が数百万円となるそうです。(普及量目標:太陽光20倍、高効率給湯器40倍、エコカー新車の1/2)

省CO2機器の一つとして太陽光と並ぶものとして、家庭用燃料電池という技術があります。現在、国策として太陽光と並んで家庭用燃料電池を普及して行こうと言う取組がなされております。本年度発売を開始致しましたが、100億円(当初予算60億円、補正予算で40億円)規模の補助金(オーダー数は太陽光と同じ)が計上され、1台あたり140万円の補助金がつきます。

2002年小泉総理が国会の施政方針演説の中で、「燃料電池は次代の扉のカギだ」と位置付けましたし、阿部総理の時にはクールハウス50と2050年までにCO2排出を半減計画の中の今後、重要となる21項目の1つとして燃料電池が位置付けられてきました。

本年度販売が開始致しましたが、2030年までに250万台を設置して行こうと計画であります。

「エネファーム」と言う名称は業界全体の共通用語として昨年6月に決定致しました。もともとは「エネルギー」と「ファーム(農場)」の合成語が作られました。

エネファームの技術:水素(都市ガスから作り出す)と空気中の酸素を反応させて水(H2O)をつくる時、電気と熱(お湯)を取出す全く新しい技術(中学の理科の実験の時、水に電極を刺し水素と酸素を取出す逆の原理)燃料自動車は水素と酸素の反応による電気を取り出し動力源としている。ガスメーカーは都市ガスより水素を作り空気中の酸素を反応させ家庭用の電気(照明・TV・PC等)に利用し、出てきたお湯(熱)をお風呂や床暖房に使って頂くというものです。

もともとこの燃料電池の技術は60年代のNASA宇宙船の電源として使われてきました。今のスペースシャトルも同様の発電技術であります。この技術は1990年代から自動車用と家庭用に使われるようになり開発は加速し、家庭用が自動車に先んじ今年販売されるようになりました。

外観的(プロジェクター)には発電ユニットと貯湯ユニット(容量200L+バックアップ用の高効率型給湯機も装備)の箱2つで家外壁にそって設置して頂くものです。

商品コンセプト:地産地所(CMのコピーを引用)⇒例えば遠方の農家から野菜を買うよりも、自分の農園で採れた野菜を使う方が良いよね!(流通コストも含め)それをエネルギーに置き換えたものが「エネファーム」の概念です。

例)電力会社が火力発電所で投入エネルギー100を入れて発電された電力は途中ロスがある為、家庭に届く際には約38%位の効率で電力を買っている形になります。それに対してこのエネファームは都市ガスの持っているエネルギーを100として運んできて各ご家庭で39の効率で発電したら56電力が取れますのでエネルギー効率は95%となりますので、非常に高い効率で使用して頂けます。

上記を受け何に対して効果的かと言いますと先に申し上げましたように「CO2の排出量が少なく環境に良い」と言う事です。具体的に申し上げますと、家1軒あたり通常の給湯器を付けお湯を使い、電気は電力会社から買う人に比べ、1年間に1.5t(通常の1/3:通常1件あたり

4.5tの排出量)の排出量を抑えることができます。

1.5tってどの位の量?:省エネ活動のエアコンの設定温度を1度上げる。シャワーの使用を1分減らす=30~40Kg/年の削減 ⇒ 数十倍の効果がある。

1.5t=ブナの木3300㎡の吸収量と同じ
1.5t×250台(本年度目標設置数)=コンビニで使用するレジ袋600万枚分=コンビニ100軒分
一般家庭におけるランニングメリット:標準家庭25万円/年の光熱費(ガス12万円 電気13万円)へ、エネファームを設置すると56,000のランニングコストを削減出来る。

機能について:自動化が進んでおり、個々の生活パターンを記憶し、個々の家庭にあった効率の良いエネルギー消費を実施する機能があります。(他:使い勝手が良く、分かり易い表示)

今後の動き:ハウスメーカーとのコラボレーションによる普及活動(積水、旭化成、ミサワ等) W発電だと6000Kwの発電 1軒あたりの使用電力5500Kw 残500Kw 売り電力となる。

今後の課題:低価格化 現状340万円-補助金140万円=200万円非常に高く投資回収出来る商品では無い。目標として数年以内に100万円代、更に2010年頃までには50~60万円代にし、多くの方に大量に普及していく様な商品として頂きたいと思っております。

現在は新築部門に勢力的に取り組んでおりますが、来年からは一般へも販売を広めて参りますのでご興味にある方はお問合せ下さい。本日は最後までご静聴賜りありがとうございました。

ニコボックス



本日の当番 的場健人 君

●横山眞久君

手首の骨折はだいぶ良くなり、9月の全国選抜野球大会には間に合いそうです。前夜祭には市長が出席頂ける事になり、準備に力が入っております。当日は例会ですので、ご出席頂き雰囲気を楽しんで頂ければ幸いです。参加人数は250名程になります。

●梅村泰弘君

本日は卓話当番です。家庭用燃料電池「エネファーム」について、東邦ガスの片岡様よりお話し頂きますので、よろしくお願致します。

●友情投金

Table with 4 columns: Name, Amount, Name, Amount. Includes names like 鈴木秀和, 永井英雄, 磯島吉晴, 野口明生, 篠田 徹, etc.

出席状況 出席委員会 河原秀紀 君

Table with 6 columns: Meeting Date, Member Count, Target Member Count, Absentee Count, Withdrawal Member Count, Attendance Rate. Shows 8/27 meeting with 82 members, 71 target, 21 absent, 5 withdrawal, 72.37% attendance.

先々週(8/6)の修正出席率 ...100%

次回の例会

第2395回
日時 21年9月11日(金)
場所 ホテルトヨタキャッスル
内容 ガバナー公式訪問

豊田ロータリークラブ
〒471-0034 豊田市小坂本町1-4-12
Tel 0565-32-5555 Fax 0565-32-5559
E-mail:office@toyotarc.jp HP: http://www.toyotarc.jp

会報委員会:小野雅道 山田郁雄 北川尚子 下地正孝 鈴木賢三 太田雄介